

## 産業・就業

- (1) 農業振興：生産基盤整備、農地流動化、他産業との連携、担い手育成等**
- 農道整備や耐風強化型ハウス、ネットハウス等の施設整備を推進
  - 大島、神津島、八丈島にて研修センターが開設され、担い手の育成を推進
- (2) 水産業振興：漁港漁場整備、水産資源管理、他産業との連携、担い手育成等**
- 第4種漁港(4港)における外郭施設(防波堤・突堤)等の整備・改良を推進
- (3) 商工業振興：他産業との連携、特産品の販路拡大、商工業者の経営支援等**
- 一次産品では八丈フルーツレモンや伊豆諸島のパッションフルーツ等、加工品では八丈町の八丈フルーツモンジャムや大島町の明日葉羊羹等、商工業者等による特産品開発
- (4) 観光振興：SNSを活用した情報発信、受入体制の充実等**
- WEB等メディア（SNS、PR動画の放映等）や紙媒体（有名旅行雑誌等）による情報発信
  - 三宅村、小笠原村において、地元産食材を活用した特産品等の企画・開発
  - 観光業者等による地域資源を活用した体験型・交流型のモデルプロジェクトの支援を実施
- (5) 就業促進：雇用就業情報の提供等**
- TOKYOはたらくネットにおける雇用就業情報やセミナー・イベント情報等の提供

## 防災

- (1) ソフト対応等：ハザードマップの見直し、連携体制の構築等**
- 津波浸水ハザードマップ基本図、東京都津波避難計画策定指針、津波避難計画モデルの作成・提供
  - 火山避難計画等の検討・策定
- (2) 国土保全等：海岸保全施設及び避難施設の整備、砂防・治山施設の整備等**
- 津波避難施設(9港)、海岸保全施設(8海岸)の整備を推進（R2～R4年度）
  - 砂防事業(13溪流)の整備を推進（R2～R4年度）
  - 島しょ部の土砂災害警戒区域等の指定を完了（30年度）、引き続き土砂災害防止法に基づく基礎調査により、指定状況を更新

## 交通・情報通信

- (1) 港湾整備：港湾整備による就航率向上、魅力ある港湾空間の創造等**
- 12港で防波堤、岸壁等の整備を推進
  - 船客待合所の整備(3箇所)、Wi-Fi環境整備(19箇所)、多言語表示案内板設置(15箇所)
- (2) 航路整備：貨客船の更新、島民割引の実施等**
- 平成26年にあおがしま丸(1月)、橘丸(6月)、フェリーあぜりあ(12月)就航、令和2年に新さるびあ丸(6月)、JF結(7月)就航、令和4年にくろしお丸(2月)就航
- (3) 航空路整備：安定的な運航、島民割引の実施等**
- 調布飛行場の定期便に計器飛行方式を導入し、就航率が向上(25年6月～)
  - 航空会社へ航空機購入補助を実施(28、30年)
  - 島民向け運賃補助導入(三宅便(29年8月)、八丈便(29年9月)、大島・新島・神津島便(30年4月))
  - ヘリ・コミューターの予約システムを整備(25年5月)、キャンセル料導入(25年6月)、キャンセル料見直し(R1年6月)
  - 航空路(ヘリ・コミューター)の運賃低廉化(30年10月～)及び新機体就航(R4.12月)
- (4) 島内交通整備：島内バス等の維持・確保、道路の防災性向上等**
- 道路の安全・安心確保に向け、道路整備事業を推進
- (5) 情報通信環境整備：インターネット等の利用環境改善**
- 5村6島の海底光ファイバーケーブルの整備を推進(28～R2年度)
  - 超高速ブロードバンドのサービス提供開始(神津島、御蔵島(29年7月)、新島、式根島(30年6月)、利島(R2年3月)、青ヶ島(R2年3月))
  - 携帯電話不感エリアの解消に向け、基地局の設置に向けた計画策定や施設整備を行う町村を支援  
R4年度：不感地域解消等に向けた計画策定支援(大島町、利島村、神津島村、御蔵島村、青ヶ島村)

## 環境

- (1) 自然環境保全：環境保全と開発のバランス確保、エコツーリズムの推進等**
- 三宅島及び御蔵島においてエコツーリズムを実施し、自然環境保全と利用の両立を推進
  - 伊豆諸島の海岸漂着物対策推進計画に基づき、円滑な処理を実施
- (2) 再生可能エネルギー活用：再生可能エネルギーの調査・実験・導入等**
- 八丈町における地熱発電事業の事業化に向けた取組の支援を実施
  - 新島(風力等)、神津島(波力)における実証事業を推進
  - 大島町における浮体式洋上風力発電事業の事業化に向けた取組の支援を実施
  - 利島村の再生可能エネルギー活用について支援を実施
  - 都有施設への太陽光発電設備設置に向けて4施設の設計を実施

## 生活

- (1) 生活環境整備：水道施設・合併処理浄化槽・ごみ処理施設の整備等**
- 水道施設整備や維持管理のための財政支援等を実施
  - 合併処理浄化槽への転換を推進(R4年度：64基)
  - 下水道施設整備のための財政支援等を実施
  - ごみ処理等の施設整備や廃棄物減量の推進等に係る財政支援を実施
- (2) 住宅対策：島の特性に応じた住宅供給、空き家の活用等**
- 公営住宅の建替え、公営住宅等ストック総合改善等を継続的に実施
  - 空き家の調査や計画作成、除却、空き家バンクの運営支援等に対する財政支援等を支援
- (3) 医療・保健対策：医療従事者の確保、診療体制の整備、検診体制支援等**
- 医師・歯科医師の派遣や無料職業紹介事業等により、医療従事者の確保を支援
  - 町村が行う専門医療に対し、専門医確保に係る経費の補助を実施
  - 東京消防庁のヘリコプター等により、救急患者を本土医療機関へ搬送
  - 健康診査の対象年齢の引き下げや検診班の招へいにより受診機会を確保
- (4) 福祉・介護サービス：介護サービス基盤整備、相談支援体制整備等**
- 介護保険サービスの確保を図るため、離島等サービス確保対策検討委員会を3回実施
  - 島しょ地域への訪問研修等を行い、地域の認知症対応力を向上
- (5) 教育振興：学校間連携、島外の高校への就学支援等**
- へき地・小規模校教育研究発表会、島しょ関係指導主事等連絡協議会の実施
  - 利島、御蔵島、青ヶ島の島民に対して、島外通学等に対する支援により負担軽減
- (6) 文化・スポーツ振興：伝統文化・スポーツイベントの情報発信と観光活用等**
- 島しょ地域住民に対し、希望に応じて演劇・音楽・寄席等の公演を実施
  - 伊豆諸島ウォークの実施(八丈島(25、30年度)、大島(26、R1年度)、三宅島(27年度)、新島(28年度)、神津島(29年度))

## 振興を進める体制

- (1) 人材確保・育成：移住者向けワンストップ窓口設置、島づくりリーダーの育成等**
- 移住定住促進に向けて、都・町村の会議体を設置するとともに、都として相談窓口を設置
  - 地域おこし協力隊制度を活用した、人材確保・育成の取組
- (2) 広域連携：分野の垣根を越えた連携拡充、支庁による課題のコーディネート等**
- 支庁コーディネートにより、各町村と事業者の共同で各島に冷凍・冷蔵コンテナを整備
  - 国家戦略特区の指定区域拡大に係る「島焼酎特区」の提案
  - (公財)東京都島しょ振興公社の地域振興事業による、島食材の特産品開発

# 東京都離島振興計画（平成25年度～平成34年度）における取組状況の概要（2）

## 各町村基本計画

### 大島 ～「笑顔あふれる、誰もがくらしたい島」～

地域資源と産業の融合、販売ルート開拓・ブランド化、ジオパークやサイクリスト誘致による観光振興、防災まちづくりの強化、交通網の充実、再生可能エネルギーの活用などを図る

- 害虫害獣の駆除、農業就業体験やブランド化に向けた加工品の開発・商品化
- 新たな観光客誘致（外国人、サイクリスト）のため各種自転車大会等の開催、Wi-Fi整備、ジオガイド認定制度・ジオパーク認定ブランド制度を実施
- 避難道路の復旧工事、避難計画の策定、土砂災害警戒区域マップ作成等を実施
- ゴミ収集方法改善や資源化率向上、低炭素社会形成の整備
- 医療センター大規模修繕、高齢者地域サロンなどを実施

### 利島 ～「地域資源型産業による島づくり」～

地域資源を生かした組織型農業・資源管理型漁業の推進、再生可能エネルギーの活用、地域生産物を活用した観光による産業振興と経済的発展などを図る

- 西側岸壁の延伸に伴い、大型客船の就航率が向上
- 災害発生時の全島避難を視野に、現有と同時発着可能な場外離着陸場を整備  
⇒平成27～28年度：実施設計・用地買収  
平成29～30年度：都への工事委任による整備工事
- UJIターン者を受け入れるため、法人組織（第3セクター）の事業を拡大（27年度）
- 観光客向けの案内板整備を実施（26年度、令和元年度）
- 新ヘリポートの設置 大型ヘリの離着陸が可能
- 村内通信インフラの整備

### 新島・式根島 ～「ふるさと自慢ができる島づくり」～

避難施設整備や町会との連携による防災体制強化、自然を活用した体験型観光推進、農業・漁業等の産業基盤育成、健康支援体制づくりや福祉の充実などを図る

- 津波避難対策として、誘導案内板、避難路、施設及び道路台帳システムの整備を実施（27年度～）
- 空き家バンク（25年度～）、新島村定住化対策事業交付金（28年度～）の継続
- 新島村定住化体験住宅事業の実施（29年7月～）
- 移住定住支援窓口業務委託（令和4年4月）
- 特産品販路支援事業により、特産品を製造販売している個人事業者を支援

### 神津島 ～「暮らして良かったと実感できる島づくり」～

管理型漁業・ブランド化の推進、新規営農者研修施設の整備、体験型観光の推進、地域連携による医療・福祉・教育振興、交通・情報通信環境向上などを図る

- 様々な分野でガイド養成が進み、神津島観光協会に35名のガイドを登録（天上山、島内史跡、磯遊び、釣り、天体観測、シュノーケル、ダイビング、植物 等）
- 学力向上、子育て支援対策として学童クラブを設置  
⇒ 小学校空き教室を改修し施設を整備（27年度）
- 災害時に備え定期的な防災訓練を実施  
⇒ 3年に一度の全村民を対象とした訓練を実施（令和元年度）
- 離島留学学生寮の整備

### 三宅島 ～「火山とともに生きる、新たな島づくり」～

ジオ観光等による観光振興、共助体制構築等による防災対策、漁業就労者確保、新規農産物開発、再生可能エネルギーの活用などを図る

- 新中央航空の就航により、就航率約90%を達成（26年4月～）
- 貯水池関係の整備や農業用ハウスの整備補助、認定農業者等支援等を実施  
⇒ パッションフルーツ等の特産農産物の生産定着により、新規就農者（2名）を確保
- 漁協協同組合による漁業後継者育成事業にて、短・長期研修を継続的に実施  
⇒ 長期研修修了者が独立就労（27年度：1名、29年度：1名、30年度：2名）
- インデューロレース「WERIDE三宅島」開催、火山観光推進のため施設等の整備

### 御蔵島 ～「グリーン愛ランド・御蔵島の実現」～

ヘリポート・港湾整備、全天候型観光メニュー整備、農地の有効活用と特産品量産、農業と観光との連携、住宅・道路等整備、福祉基盤整備、自然環境保全などを図る

- 農業人材の育成、農業用鉄骨ハウスの整備（特産品・秋冬地場野菜の生産安定）
- 灌漑施設などの土地基盤の整備に向けた調査設計（南郷地区）
- 水産物の高付加価値化の取組（冷凍保存設備の整備、長期保全食品の開発）
- 自助・共助の意識を高めるため、防災訓練を実施  
⇒ 25年度：村単独訓練、27年度：都・三宅村・御蔵島村合同訓練
- 都と村の共同でエコツーリズムガイド養成等を実施
- 港湾整備、情報通信整備を継続、新ヘリポートは令和元年6月に完成

### 八丈島 ～「クリーンアイランドの実現」～

農業担い手育成、資源管理型漁業、文化・スポーツを活用した体験型観光推進、再生可能エネルギーの活用、医療・福祉の充実、廃棄物適正処理、防災対策強化などを図る

- 漁協女性部の水産加工品や、農業生産事業者のあしたば粉末加工品等を販売
- 観光において、スポーツ合宿・文化交流による来島者増加を推進
- 耐風強化型ハウスの計画的な整備等により、農業生産性が安定化  
⇒ 農業担い手育成研修センターにおいて、6名の育成を実施中
- 農業・漁業就労希望者を対象に就業体験の取組を実施（漁業27年度、農業28年度から）
- 地熱発電事業開始に向けた適切な情報提供の実施と、事業者や関係機関と連携

### 青ヶ島 ～「心あたたか元気な島づくり」～

防災面からの基盤整備、農業基盤整備と担い手確保、情報通信環境整備、保健・介護の充実、再生可能エネルギーの活用、スマートグリッド構築などを図る

- 港湾等の整備は予定通り進捗、連絡船の大型化により利便性向上（R4年2月）
- 島の西側の法面工事は予定通り進捗
- 外部団体と連携して地熱の利用促進に向けた協議会を設置し、事業化に向けて検討  
⇒ 太陽光や風力についても、村単独で気象観測機器を設置し、データを収集
- 農道整備を27年度から開始し、2か所の農道と畑・ハウスの整備を完了
- 島内の民宿において、島で獲れた魚等を民宿を通じて観光客へ提供